

教科 (科目)	保健	単位数(時数)	1 単位 (37)	学年 (科)	2 学年
使用教科書	・最新高等保健体育 (大修館) 保健編				
副教材等	・なし				

## 1. 学習目標

個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

## 2. 指導の重点

- ①生涯の各段階における健康課題に、適切に対応する必要性を理解できるようにする。
- ②我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することの重要性を理解できるようにする。
- ③社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の健康、労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることを理解できるようにする。

## 3. 評価規準と評価方法

- ・生涯の各段階の健康問題について関心を持ち、学習に意欲的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)
- ・社会生活における健康の保持増進に関する課題解決のための方策について理解している。(知識・理解)
- ・健康課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。(思考・判断)

## &lt;評価方法&gt;

上記の観点から、授業の取り組み(授業態度、学習活動への参加状況)、定期考査などを総合的に評価する。

## 4. 学習アドバイス

- ①自分自身の生活習慣を振り返り、身近な課題として現代の健康問題を捉えよう。
- ②思春期の心身の特徴を正しく捉え、それらを基に生涯の各段階における健康を幅広く考えよう。

(担当：鈴木敏郎)

月	単元・考査等	時数	主要学習領域	学習活動（指導内容）	
4	生涯を通じる健康	3	思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期における心身の発達と健康</li> <li>・性意識と性行動の選択</li> </ul>	
5		社会生活と健康	5	結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な結婚生活</li> <li>・妊娠、出産と健康</li> <li>・家族計画の意義</li> </ul>
6			4	加齢と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢に伴う心身の変化と健康</li> <li>・高齢者のための社会的取り組み</li> </ul>
7			1	課題研究 オリエンテーション	<p>&lt;社会生活と健康&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染</li> <li>・水質汚濁</li> <li>・土壌汚染</li> <li>・環境汚染</li> <li>・環境と健康</li> <li>・環境衛生活動</li> <li>・食品保健</li> </ul> <p>上記7分野から1つを選択し、夏休み中に研究レポートを作成する。また、1班数名で班分けも行う。</p>
9	前期期末考査	6	課題研究発表準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班ごとに発表準備を行う。</li> </ul>	
10		1			
11		10	課題研究発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班ごとに発表する</li> </ul>	
12		3	労働災害と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働災害の作業形態や作業環境の変化</li> <li>・労働災害防止のための健康管理と安全管理</li> </ul>	
1		3	働く人の健康の保持増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く人のメンタルヘルスケア</li> <li>・余暇の活用</li> <li>・生活の質(QOL)の向上に向けて</li> </ul>	
2					
3	後期期末考査	1			

計 37 時間（48 分授業）